

2013年度
日 本 史
(問 題)

< H25070018 >

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。また、解答用紙のその他の部分には何も書かないこと。
4. 解答用紙の受験番号をよく確認し、試験開始後、氏名を所定欄に正確に記入すること。
5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input checked="" type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の【史料1】【史料2】を読み、問1～8に答えよ（いずれも設問の都合上、文章の一部を改めている）。

【史料1】

其の一に曰く、昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の屯倉、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所
有る部曲の民、処々の田莊を罷めよ。よりて食封を大夫より以上に賜ふこと、おのおの差有らむ。降りて布帛を以て、
官人・百姓に賜ふこと、差有らむ。（中略）其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・関塞・斥候・防
人・駅馬・伝馬を置き、鈴契を造り、山河を定めよ。（中略）其の三に曰く、初めて戸籍・計帳・斑田収授の法を造
れ。（中略）其の四に曰く、旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。（中略）別に戸別の調を取れ。

〔日本書紀〕

【史料2】

凡そ戸は、**A** 戸を以て里と為よ。里毎に長一人置け。戸口を検校し、農桑を課殖し、非違を禁察し、賦役を
催駆することを掌る。（中略）凡そ計帳を造らむことは、年毎に六月の三十日の以前に、京国の官司、所部の手実責
へ。具に家口・年紀を注せよ。（中略）凡そ戸籍は、**B** 年に一たび造れ。（中略）凡そ戸籍は、恒に**C** 比留
めよ。

凡そ田は、長さ三十歩、広さ**D** 歩を段と為よ。（中略）凡そ口分田給はむことは、男に二段、女は**E** 分
が一減ぜよ。五年以下には給はず。（中略）凡そ諸国の**F** は、皆国司郷土の估値に随ひて賃租せよ。

〔令義解〕

問1 【史料1】下線部（1）に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 中央政治の中核は、臣姓・連姓の豪族から任じられた大臣・大連が担った。
- ロ 伴造は、伴をひきいて軍事・財政・外交などの職掌を分担した。
- ハ 臣・連にくわえて、地方豪族に君や直の姓が与えられた。
- ニ 地方豪族は、子女の出仕、特産物の貢進などによって中央政府に奉仕した。
- ホ 地方豪族は、私有地である県や私有民である品部を経済的な基盤とした。

問2 【史料1】の詔が発せられた頃の出来事についての記述として適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 乙巳の変の後、王族の軽皇子が即位して孝徳天皇となり、都を飛鳥から難波に移した。
- ロ 朝鮮半島では百済が唐と結んで新羅と高句麗を滅ぼした。
- ハ 白村江の敗戦を受けて、大宰府の北方に朝鮮式山城、南方に大野城がきずかれた。
- ニ 中大兄皇子は都を近江大津宮に移して天智天皇となり、庚午年籍を作成した。
- ホ 天智天皇が亡くなると、弟の大友皇子と子の大海人皇子が皇位継承をめぐる争った。

問3 【史料1】下線部（2）についての記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 防人の任期は2年であった。
- ロ 北九州の防衛をおもな任務とした。
- ハ 東国の兵士が多くあてられた。
- ニ 防人を管轄する役所として防人司が設置された。
- ホ 『万葉集』には防人歌が多く収められている。

問4 【史料2】に関連して、律令制についての記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 中央では太政官のもとで中務・式部・治部・民部・兵部・刑部・大蔵・宮内の八省が政務を分担した。
- ロ 全国が、畿内・東山道・北陸道・東海道・山陰道・山陽道・南海道・西海道に区分された。
- ハ 国司や郡司は中央から派遣された。
- ニ 東海・東山・山陽の三道に関所として三関が置かれた。
- ホ 各官司には長官・次官・判官・主典の四等官が置かれた。

問5 【史料2】の **A** **B** **C** **D** **E** に入る数字の組み合わせとして適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ (A)六十 (B)五 (C)五 (D)十二 (E)五
- ロ (A)六十 (B)六 (C)六 (D)十五 (E)五
- ハ (A)六十 (B)五 (C)六 (D)十二 (E)五
- ニ (A)五十 (B)六 (C)五 (D)十二 (E)三
- ホ (A)五十 (B)五 (C)六 (D)十五 (E)三

問6 【史料2】の **F** に入る語句として適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 公田 ロ 剰余田 ハ 班田 ニ 易田 ホ 輪租田

問7 【史料2】に関連して、法典編纂についての記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 天智天皇の時に近江令が定められたと伝えられている。
- ロ 天武天皇の時に施行された飛鳥浄御原令は、大宝律令の制定まで有効であった。
- ハ 日本の律は唐律をほぼ引き写したものとされているが、概して唐律よりも刑罰が軽い。
- ニ 藤原不比等らによりまとめられた養老律令は、孝謙天皇の時に施行された。
- ホ 平安初期に編纂された弘仁格式・延暦格式・延喜格式を、合わせて三代格式という。

問8 【史料2】に関連して、税や労役負担についての記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 田地に課される税である租は、おもに諸国の正倉に貯蔵された。
- ロ 口分田の売買は許されず、死者の口分田は6年ごとに収公された。
- ハ 調・庸は、21歳から55歳の正丁に課せられた。
- ニ 国家が春に稲を貸し付け、秋の収穫時に利息とともに徴収する公出挙もあった。
- ホ 衛士や防人のような兵役に際しては、武器や食料は自前が原則であった。

II 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

(1) 応仁の乱によって、京都の中央文化は、次第に地方へと拡散していった。公家や、僧侶、文化人たちが京都を避け、地方の大名などを頼って下向していったからである。一方、地方の武士たちも、中央の文化に憧れ、彼らを積極的に迎え入れた。こうして、戦国大名の城下で、地方文化が繁栄することになった。

閑白を務めた一条兼良は、京都の戦乱を避け、奈良の興福寺大乗院に疎開し、『源氏物語』の注釈書『花鳥余情』などを著している。町人学者の **あ** も、奈良で国語辞典『 **A** 』を刊行、同書は室町末期から用いられるようになった。また、詩僧の **い** は、当時の一流の武将で文人だった太田道灌の招きで江戸に下向、『梅花無尽蔵』などの詩文集を残した。

日明貿易で栄えた大内氏が支配する山口には、多くの文化人が京都から逃れて来住したので、「西の京」と呼ばれるようになり、宣教師のザビエルも訪れたことがある。 **う** の『筑紫道記』は山口から大宰府への旅行を記録したも

ので、各地で連歌の座をもった様子が描かれている。雪舟は明から帰国後、山口に住み、諸国を訪ねて水墨山水画の完成に努めた。[B] は当時の繁栄を今日に伝えている建築物である。

九州肥後の菊池氏や薩摩の島津氏は、[C] を招き儒学の講義を聞いた。[C] は山口の臨済僧侶で、明から帰国後、薩摩に移住し、後の薩南学派の基を開いた。また、四国土佐の吉良氏も、儒学者の南村梅軒を招いて講義を聞いたといわれる。江戸時代になると、土佐に⁽³⁾海南学派(南学)という儒学の一派が興り、優れた学者が多数輩出した。

関東では⁽⁴⁾足利学校が復興し、関東文化の中心となった。室町末期に成立した『鎌倉大草紙』には、「此⁽³⁾比諸国大にみだれ、学道も絶えたりしかば、此所日本一所の学校となる」と書かれている。

問1 下線部(1)以後に起こった出来事を年代順に正しく並べてあるのはどれか。1つ選べ。

- イ 三浦の乱→山城の国一揆→天文法華の乱→寧波の乱
- ロ 山城の国一揆→三浦の乱→天文法華の乱→寧波の乱
- ハ 三浦の乱→寧波の乱→山城の国一揆→天文法華の乱
- ニ 寧波の乱→三浦の乱→天文法華の乱→山城の国一揆
- ホ 山城の国一揆→三浦の乱→寧波の乱→天文法華の乱

問2 下線部(2)に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 『樵談治要』は足利義尚のために書かれた政治上の意見書である。
- ロ 『善隣国宝記』を著し、足利義満の外交を批判した。
- ハ 日野富子の政治上の助言者だった。
- ニ 伊勢神道に対抗して唯一神道を提唱した。
- ホ 『公事根源』は宮中の行事・公事の沿革を記した有職故実書である。

問3 [A]に入る書名は何か。1つ選べ。

- イ 童子教 ロ 元元集 ハ 節用集 ニ 実語教 ホ 河海抄

問4 [あ] [い] [う]に入る人物の組み合わせとして正しいものはどれか。1つ選べ。

- | | | | | | | |
|---|-----|-------|-----|-------|-----|------|
| イ | [あ] | 宗祇 | [い] | 万里集九 | [う] | 山崎宗鑑 |
| ロ | [あ] | 饅頭屋宗二 | [い] | 山崎宗鑑 | [う] | 万里集九 |
| ハ | [あ] | 万里集九 | [い] | 宗祇 | [う] | 山崎宗鑑 |
| ニ | [あ] | 山崎宗鑑 | [い] | 饅頭屋宗二 | [う] | 宗祇 |
| ホ | [あ] | 饅頭屋宗二 | [い] | 万里集九 | [う] | 宗祇 |

問5 [B]に入る建築物は何か。1つ選べ。

- イ 鶴林寺本堂 ロ 永保寺開山堂 ハ 万福寺大雄宝殿 ニ 瑠璃光寺五重塔 ホ 鹿苑寺舍利殿

問6 [C]に入る人物は誰か。1人選べ。

- イ 義堂周信 ロ 中巖円月 ハ 絶海中津 ニ 虎関師鍊 ホ 桂庵玄樹

問7 下線部(3)に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 陽明学の立場から現実を批判し藩政の改革を唱えた。
- ロ 江戸時代初期に谷時中によって基礎づけられた。
- ハ 野中兼山は藩政に参与し新田開発などを推進した。
- ニ 山鹿素行は『聖教要録』を著し中興の祖となった。
- ホ 山崎闇斎は京都に出て多くの弟子を育てた。

問8 下線部(4)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 池田光政が創設した学校である。
- ロ 施設は下野国足利にあった。
- ハ 関東管領の上杉憲実が再興した。
- ニ 北条氏が保護したので全国から僧侶や武士が集まった。
- ホ ザビエルは「坂東の大学」として西洋に紹介した。

Ⅲ 次の【史料】を読み、問1～8に答えよ。

【史料】

我よくしろしめされし御事(1)のなくなり給はむ後には、我言の行はれざらむは、去年の九月廿七日より思まうけぬ。されど、金銀の事に限りては、天下之患これより大なるものなけれど、当時の御政を輔け申さるゝ人々の中、一人もかゝる事議申さるゝとも聞えねば、去年の春、我ひとり身を出して、封事を進まらす事、第三度に至りぬる時は、すでに御不例の最中也しかど、御志を決し給ひ、銀造る事を停められ、近江守重秀(2)が職奪れたりけり。其後はいかにもして、金銀の製古(3)に復されん事を思食おぼしめしはかられ、かくれさせ給ふ御き(2)は迄も、此事に及ばれしは、今の御政を輔られし人はよくしり給ひぬる事ぞかし。(中略)五月十五日に至て、前代の御遺意(4)によられて、金銀の製古に復さるゝ由、世の人に仰下ことおろされたりけり。すべて此仰は「草を進らせられよ」と、**A**の望まれしによりて、「此事にかざりては、某辞申すべきにあらず」といひて、ことごとく皆其草をぞ進らせたりける。

(新井白石『折たく柴の記』)
(5)

問1 下線部(1)は徳川家宣のことだが、家宣時代に起こった出来事の記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 生類憐みの令が廃止された。
- ロ 宝永小判(乾字金)が発行された。
- ハ 閑院宮家が創設された。
- ニ 朝鮮通信使の接待が簡素化された。
- ホ 由井正雪の乱が起こった。

問2 下線部(2)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 徳川綱吉に貨幣改鑄を上申した。
- ロ 悪質な元禄小判を鑄造・発行した。
- ハ 『民間省要』を著し財政再建案を提言した。
- ニ 収入を増加させたが物価の高騰をまねいた。
- ホ 新井白石の建議によって勘定奉行を罷免された。

問3 下線部(3)の古とは何時の時代の事か。1つ選べ。

- イ 明暦 口 慶長 ハ 寛永 ニ 慶元 ホ 天正

問4 下線部(4)の貨幣改鑄に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 徳川家継將軍の時に行われた。
口 錢座を創設して貨幣改鑄を始めた。
ハ 新井白石の建議によって正徳金銀が発行された。
ニ 正徳小判の重量は極めて少なかった。
ホ 貨幣流通量が減少し経済停滞をまねいた。

問5 Aは徳川家宣が側用人として登用した人物である。1人选べ。

- イ 喬朝朝臣 口 忠清朝臣 ハ 詮房朝臣 ニ 忠相朝臣 ホ 忠之朝臣

問6 下線部(5)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 木下順庵に学び、木門十哲の一人に数えられた。
口 金銀の海外流出を防ぐため海舶互市新例を出した。
ハ 徳川將軍の対外的な称号を「日本国王」と改めた。
ニ 歴史家として、『古史通』や『日本外史』などの歴史書を残した。
ホ 宣教師シドッチから得た情報に基づいて『西洋紀聞』を著した。

問7 田沼意次が発行した通貨はどれか。1つ選べ。

- イ 吹継一朱銀 口 十文の大錢 ハ 文政二朱銀 ニ 南鐮二朱銀 ホ 嘉永一朱銀

問8 江戸時代の国際・他民族関係の記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 日朝貿易は対馬の宗氏を通して行われた。
口 琉球は將軍の代替わりを祝う謝恩使を江戸に派遣した。
ハ オランダ人は出島での取引を強いられた。
ニ 清国人は唐人屋敷に移されて取引した。
ホ 幕府はアイヌとの交易独占権を松前氏に与えた。

IV 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

明治新政府は独自の軍事力を持たないままスタートした。しかし、日本の独立を守り、国内治安を維持するため、近代的な軍事制度の整備は不可欠であった。1871年から73年にかけて、一連の制度が創設され、国民皆兵を原則とする徴兵令が公布された。⁽¹⁾

明治政府は1871年に清国と修好条規を結び、対等な関係を実現した。しかし、1873年の征韓論や、74年の台湾出兵、75年の江華島事件を経て、朝鮮半島をめぐる日清両国の対立が激しくなった。このような事態に対応するため、1880年代に入ってから、日本は制度面の整備を行う一方、朝鮮半島における清国の行動を牽制した。⁽²⁾⁽³⁾

日清戦争で勝利を収めた日本は清国から台湾を獲得し、植民地にした。つづいて日露戦争にも勝利して、満州における租借地と鉄道の利権を手に入れた。日本は南満州が日本本土および朝鮮に隣接することから同地方を特殊地域と見なした。関東軍は、日本が獲得した利権を手がかりに中国大陸での権益拡大を目指した。また、国内においても、陸軍は中国の辛亥革命に刺激されて、2個師団増設を要求した。陸軍は陸海軍大臣の補任資格にかかわる制度を利用して、増師に反対した内閣を総辞職に追い込んだ。⁽⁴⁾⁽⁵⁾一方、政府は陸軍の拡張路線に翻弄されながらも、海軍軍縮会議などの場に⁽⁶⁾

において、欧米諸国に妥協する姿勢を見せ、国際協調の路線を打ち出した。しかし、1930年4月ロンドン海軍軍縮条約をめぐって、政府が対米妥協案の回訓を決定すると、野党の立憲政友会をはじめとする政治勢力は、統帥権上重大な問題であり憲法上の疑義を免れないと激しく政府を攻撃した。満州事変を経て、軍部の発言力が増大する中で、日本は中国との全面戦争に突入した。

問1 下線部(1)に関連して、明治初期の軍事制度についての記述として適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 天皇を警護する近衛兵が名称を変更して御親兵になった。
- ロ 鎮台に旧藩兵を配置した主な目的は、内乱に備えることであった。
- ハ 兵部省は廃藩置県の直後に設置された。
- ニ 徴兵令公布に合わせて、兵部省が陸軍省と海軍省に分立した。
- ホ 大村益次郎がヨーロッパ視察の経験をもとに新しい軍制づくりを担った。

問2 下線部(2)に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 清国は、台湾住民が引き起こした琉球漂流民殺害事件の責任をとると表明した。
- ロ この出兵は明治政府による最初の海外派兵である。
- ハ 清国は日本の出兵の正当性を認めなかった。
- ニ この問題の解決に当たって、イギリスが積極的な斡旋を行った。
- ホ 明治政府は、出兵によって士族層の不满を和らげる意図を持っていた。

問3 下線部(3)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 壬午事変の後、日本は朝鮮に守備兵の公使館駐屯を認めさせた。
- ロ 天津条約で両国軍隊の朝鮮からの完全撤兵が規定された。
- ハ 戦時と事変に備えて戒厳令を制定した。
- ニ 清国との間で、朝鮮への出兵について、文書による事前通告の慣例を廃止した。
- ホ 軍隊の編制を内乱対策の鎮台制から、清との戦争に備えるための師団制に変えた。

問4 下線部(4)に関連する記述として適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 関東軍は関東都督府の設立とともに独立した。
- ロ 関東軍は満鉄沿線の守備を受け持った。
- ハ 遼東半島租借地の守備は関東庁が担当した。
- ニ 板垣征四郎らが起こした満州某重大事件の処理をめぐって、田中義一首相が天皇の信頼を失った。
- ホ 石原莞爾らの謀略で柳条湖事件が発生した。

問5 下線部(5)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 1907年の帝国国防方針で、陸軍は25個師団への増設を目標に定めた。
- ロ 2個師団増設要求は清国駐屯軍を増強するためであった。
- ハ 増師計画が採用されなかったことを理由に、上原勇作陸軍大臣が単独で辞職した。
- ニ 山本権兵衛内閣のもとで予備役の将官も軍部大臣になる資格を得た。
- ホ 第2次大隈内閣のもとで2個師団増設の計画が実現された。

問6 下線部(6)に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ ワシントン会議の目的の1つは、東アジアにおける日本の膨張をおさえることであった。
- ロ ワシントン会議当時、軍令部が主力艦の対米英7割論を主張した。
- ハ ワシントン海軍軍縮条約では、今後10年間主力艦建造の禁止が決められた。
- ニ ロンドン海軍軍縮会議では、主力艦建造禁止をさらに10年間延長することが決められた。
- ホ ロンドン海軍軍縮会議では、海軍軍令部の加藤寛治部長が反対論を押し切って条約に調印した。

問7 下線部(7)に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 統帥権の発動には、参謀総長と海軍軍令部長が参与した。
- ロ 帷幄上奏権とは、軍令機関が閣議を経て天皇に上奏する権能のことである。
- ハ 軍制では、平時には陸軍省と海軍省がそれぞれ陸海軍の行政、人事の実権を握った。
- ニ 通常の憲法解釈では、兵力量の決定は内閣の補弼事項である。
- ホ 軍令部条例では、兵力量の決定にも軍令部の同意が必要とされた。

問8 満州事変から下線部(8)が勃発するまでの期間中の出来事①～⑤を年代順に並べたものとして、適切なものはどれか。1つ選べ。

- ①帝国国防方針が改定された。
 - ②陸軍省が『国防の本義と其強化の提唱』を発行した。
 - ③宇垣一成が組閣を断念した。
 - ④相沢事件が発生した。
 - ⑤血盟団事件が発生した。
- イ ①→⑤→④→②→③ ロ ①→⑤→②→③→④ ハ ⑤→③→②→①→④
ニ ⑤→②→④→①→③ ホ ③→④→①→⑤→②

V 次の【史料】(第二次世界大戦後のGHQによる「指令」の抜粋)を読み、問1～8に答えよ(いずれも設問の都合上、文章の一部を改めている)。

【史料】

- [1] 参政権の賦与により、日本の婦人を解放すること——婦人も国家の一員として各家庭の福祉に役立つべき新しい政治の概念をもたらすべし。
- [2] 学校をより自由主義的な教育のため開校すること——以て国民が事実に基礎付けられたる知識により、自身の将来の発展を形成することを得、政府が国民の主人にあらずして使用人たるの制度を理解することにより解答するを得べし。
- [3] 日本の経済制度を民主主義化し、以て所得並びに生産及び商業手段の所有権を広く分配することを保障する方法を発達せしめることにより、独占的産業支配を是正すること。
- [4] 民主化促進上経済的障害を排除し、人権の尊重を全からしめ、かつ数世紀に亘る封建的圧政の下、日本農民を奴隷化してきた経済的桎梏を打破し、現状より以上の均等の機会を保障すべきこと。
- [5] 政治的、公民的及び宗教的自由に対する制限を除去すること——政治的、公民的、宗教的制限を除去するため、以下の一切の法律等の一切の条項(省略)を廃止し、直ちにその適用を停止すべし。
- [6] 労働組合の組織奨励——以て労働に威厳を賦与し、労働者階級が搾取と濫用より己れを擁護し生活程度を向上せしむるため、大なる発言権を与へらるべし。

問1 [1]～[6]の中でいわゆる「五大改革指令」に含まれないものはどれか。2つ選べ。

イ [1] 口 [2] ハ [3] ニ [4] ホ [5] ヘ [6]

問2 [1]に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 戦後初の衆議院議員選挙法改正により、有権者総数は約2倍に増加した。
- 口 女性の政談集会参加は、治安維持法が廃止されるまで禁止されていた。
- ハ 戦後初の総選挙の結果、女性議員39人が当選した。
- ニ GHQは、公職追放指令により、翼賛選挙の推薦議員をすべて失格とした。
- ホ 戦後初の総選挙で当選した女性議員は、超党派の婦人議員クラブを結成した。

問3 [2]に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 教育改革指令により、修身・日本歴史・地理の授業停止が命じられた。
- 口 衆参両院が教育勅語の失効を決議した後、学校から勅語謄本が回収された。
- ハ アメリカ教育使節団来日後、南原繁を代表とする教育刷新委員会が組織された。
- ニ 学校教育法は、六・三・三・四の新学制を定めた。
- ホ 都道府県、市町村ごとに知事指名委員から構成される教育委員会が設けられた。

問4 [3]に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 独占禁止法はカルテルやトラストを禁止し、公正取引委員会がこれを監視した。
- 口 人的支配を断ち切るため、指定財閥の家族も財界から追放された。
- ハ 過度経済力集中排除法により実際に分割された企業は11社だった。
- ニ 持株会社整理委員会令により、株式所有を通じた財閥の会社支配が禁止された。
- ホ 米ソ冷戦の激化とともに、企業分割の方針は一層強化された。

問5 [4]に関連する記述として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ GHQの勧告に基づく自作農創設特別措置法により、第一次農地改革が開始された。
- 口 幣原内閣は在村地主の所有限度を5町歩とする案を作成したが、GHQは反対した。
- ハ 第二次農地改革により、不在地主の所有限度は小作地1町歩、自作地と小作地合計3町歩とされた。
- ニ 農地改革前の自作地の割合は約5割であったが、農地改革後は約9割に増加した。
- ホ 農地委員会は、地主3・自作農2・小作農5の割合で構成され、農地買取・売り渡しにあたった。

問6 [5]の指令の中に含まれないものはどれか。1つ選べ。

- イ 宗教法人法の廃止 口 事前検閲の禁止 ハ 政治犯・思想犯の釈放
- ニ 特別高等警察の廃止 ホ 内務大臣などの罷免

問7 [6]に関連する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 労働争議仲裁を目的に労働関係調整法が制定され、中央労働委員会が設置された。
- 口 片山内閣の時に労働基準法が制定され、労働省が設置された。
- ハ 芦田内閣の時に国家公務員法が改正され、公務員の争議権が否定された。
- ニ 全日本産業別労働組合会議は、全日本労働組合総同盟に対抗し反共的立場をとった。
- ホ 労働組合は、自主的に業務を管理・運営することを目的とする生産管理闘争を行った。

問8 各内閣期の出来事として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 東久邇宮内閣——旧日本軍武装解除 口 幣原内閣——降伏文書調印
ハ 第一次吉田内閣——日本国憲法施行 ニ 片山内閣——内務省廃止
ホ 芦田内閣——経済安定九原則発表

[以下余白]